第6回岩国市景観審議会 会議録

日 時	令和2年11月16日(月) 13:30~14:30
場 所	岩国市役所2階 特別会議室
出 席 者	8名(／10名) 小浦委員、目山委員、富川委員、秋山委員、重富委員、村越委員、木村委員、山本委員
事 務 局	土井公園景観課長、松林主査兼景観政策班長、中村技師、山方主事、大平主事、池田主事 都市開発部公園景観課
関 係 課	産業振興部錦帯橋課 善村錦帯橋課長、浜中世界遺産推進班長、鮎川主任、松江主事
関 係 者	㈱オオバ(2名) 景観計画変更業務委託業者
会 議 の 公 開	☒ 公開 ☐ 非公開

1 会議次第

1.開会

2.議題

1) 意見聴取第1号：岩国市景観計画の変更について

3.その他

1) 今後のスケジュールについて

4.閉会

2 配布資料

資料1 岩国市景観計画の変更について

3 審議経過

○**会議の成立** 委員10名中8名が出席しており、岩国市景観条例施行規則19条第3項の規定を満たしているため、本日の会議は成立。

○**開会** 土井課長より挨拶

議題1「意見聴取第1号 景観計画の変更について」

○**事務局** 議題1「報告第3号 岩国市景観計画の変更について」をご説明いたします。

これにつきましては、前回審議会後10月にパブリックコメントを実施させていただいており、それを受けての対応等の報告をさせていただき、現在の計画案全文についてお示しします。

なお、資料の配布が当日となってしまったこともありますので、本日資料についてご説明させていただいた後、今月いっぱいを目途にまたご意見を伺う期間を設けさせていただきます。

その後、12月にはおおよその最終案について、審議会という形ではないですが、事

第6回岩国市景観審議会 会議録

前にご案内させていただき、1月の都市計画審議会ならびに景観審議会に変更案を確定したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

資料1-1「岩国市景観計画変更案（パブリックコメント資料・第5回景観審議会資料対比表）」をご覧ください。

まず、前回審議会からパブリックコメントでの変更案において、変更となった点について、簡単にご説明いたします。

なお、資料において、黄色でお示ししているのが、前回審議会からの変更点となります。

目次をご覧ください。大きな構成の変更点といたしまして、まず、1ページ目において、第2章の3に「岩国市の文化的景観」を加えています。

これは、今回景観計画変更の契機となったのは、「錦川下流域の文化的景観」ですが、岩国市が持つ文化的景観は他にも様々なものがあります。そういった意味で、第2章に市全体としての文化的景観の位置づけを行っているものです。

また2、3ページにおいて、各ゾーンにありました「ルール」につきましては、第9章の内容と重複していることから、削除することといたしました。

また、景観重要建造物及び景観重要樹木の指定方針につきましては、景観法での体系が異なることから、景観計画においても、新たな章立てを行い、各ゾーンの指定方針を集約化することといたしました。

なお、3ページ右側の「景観重要公共施設の整備と占用等に関する考え方」を黄色でお示ししていますが、これについては前回審議会の段階で削除されています。申し訳ありません。訂正させていただきます。

また、内容につきまして、1点ご説明させていただきたいのが、34ページの岩国地区の形態意匠の基準となります。

こちらについては、当初文化庁の指摘も受け、これまで基準案について熟慮を重ねてきたところですが、最終的に「歴史的な建物等からなる通りとしての連続したまちなみを阻害せず、地区の歴史的な建物と調和した高さ及び形態とし、各部分の高さの最高限度は15m以下とすること。」から、「歴史的な建物等からなる通りとしての連続したまちなみを阻害せず、地区の歴史的な建物と調和した形態及び高さを基本とし、やむを得ず中層となる場合には、地区のまちなみと調和した10～12m程度とすること。ただし、地区の歴史的な建物と調和した傾斜屋根とする場合には、15mを限度とすることができる。」としております。

これについては、基本として低層のまちなみを誘導していきたいという景観形成方針のもと、やむを得ず、中層となる場合も実際のまちなみを形成している10～12m程度を基準としていただき、地区の歴史的な建物と調和するという形態とセットで判断をしたいと考えております。

なお、同じ岩国地区にかかっている風致地区条例の規制とのバランスやこれまでの住民合意の観点から、「地区の歴史的な建物と調和する場合」には「15mを限度とすることができる」旨規定しております。

第6回岩国市景観審議会 会議録

また、外観については、外壁だけでなく、開口部や軒等の外観を構成する要素について具体的に挙げ、より有効な景観誘導を図れるよう基準を見直しております。

前回審議会からパブリックコメント案への、大きな変更点についての説明は以上です。

つづきまして、資料1-2「岩国市景観計画変更案に対するパブリックコメントにおける意見とその対応について」をご説明いたします。

すでにご案内のとおり、10月1日～10月30日にかけて、パブリックコメントを実施いたしました。

また、10月21日に横山地区、10月24日に岩国地区において説明会を行い、景観計画変更案についてのご説明をさせていただきました。

説明会におきましては、地元の方がほとんどということもあり、具体的な計画や基準について、どうした方がいい、こうした方がいい、というご意見はなく、実際の運用面についてのご意見がほとんどでありました。

具体的などころで申し上げますと、無電柱化の推進であったりとか、横山地区の浸水対策であったりとか、景観形成補助金の拡充などが上がりました。

これにつきましては、景観計画変更前後に関わらず、関係課とも連携を取りながら、運用を図っていきたいと考えております。

次にパブリックコメントの意見とその対応についてご説明いたします。

まず、今回の見直しの目的といたしまして、1ページ下段にお示ししているとおり、「平成27年度から平成30年度にかけて、「錦川下流域の文化的景観保存調査」により、明らかとなった「文化的景観」の価値について、景観計画に位置付けるとともに、文化財保護法に基づく「重要文化的景観」の選定申出に向け、主に選定申出を検討している範囲を対象に、重要文化的景観の保護の観点から適切な措置が図られているか等について見直しを行っているものです。

この目的については、パブリックコメント募集に際して提示させていただいており、これを基とした変更案について意見募集を行ったところであります。

今回は2名で10件の意見をいただいておりますが、かなり専門的なご意見をいただいております。

ただ、今回の変更に関係のないものや今後の運用面についてのご意見も多くいただいておりますので、そういった点については今後の参考にさせていただきたいと考えております。本日は時間の都合もありますので、対応の詳細については、次の資料でご説明いたします。

また、この回答の文案については、今後関係課と文言を調整するものもありますので、現段階の案ということでご理解いただければと思います。

つづきまして、資料1-3「岩国市景観計画改定案」について、ご説明いたします。

資料1-2でお示ししました市の対応方針について、具体的な計画への反映、パブリ

第6回岩国市景観審議会 会議録

ックコメント案からの変更点について、ご説明いたします。

まず資料を1枚めくっていただいて、目次をご覧ください。

基本的な変更点としましては、この中の第1章～第4章となります。

まず、第1章ですが、「図が小さく、図中の文字や凡例の文字が読みづらい」とのご意見がありましたので、改定案の9・12・14・16ページのとおり、図をA4いっぱいに表示するよう修正いたしました。

また、これまでの景観計画において、重点地区をどこに指定しているかを、景観形成方針の部分で初めて記載していましたが、「区域」として範囲を指定し、景観形成基準を定めているため、第2章の景観計画区域において記載することとし、改定案19～23ページにその旨位置づけます。また重点地区以外の区域を「一般地区」とすることとします。

また、景観計画における「文化的景観」の位置づけについては、区域を示した次に、その区域には文化的景観があるということを示すため、第3章として、独立した章で記載することといたします。

また、第4章を「景観まちづくりの方針」とし、景観形成のゾーン区分は厳密な区域ではないため、その内容やゾーンごとの景観形成方針の構成は、この章で記載することといたします。

なお、従来の表現である「景観まちづくりの基本方針」については「景観まちづくりの基本理念、基本目標、基本方針」に変更いたします。

第5章以降については、大きな変更点はございません。以上となります。

なお、冒頭申し上げましたように、今回の審議会後、今月いっぱいを目途に、現在の変更案について、ご意見をいただく期間を設けたいと考えております。

それにあたっての確認事項などありましたら、ご意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

○小浦会長 それでは何かございますでしょうか。

○目山委員 資料1-2、P3のパブリックコメント意見で、ゾーニングの設定に対する考え方に誤解があるので、指摘内容に対して考え方が違うということの方針として示すべきではないかと思う。

ゾーン設定は地域の特性が類似するエリアを委員会で整理したもので、指摘者の考え方と違う。パブコメでの1人の方の意見を受けとめすぎではないか。

○事務局 法的な位置づけとの整理で構成するものである。

○小浦会長 ゾーニングを変えているわけではない。パブリックコメントの市としての答え方が、ゾーニングは地域特性に応じて定めているので変えないことを伝えた上で、何を変えたかがわかるようにして欲しいということである。

○目山委員 パブコメでの意見は大事であるが、誤解したものを受け止めたかのように答えていくと、市としてやってきたことを否定することになる。委員会での議論を踏まえて計画を立てているので、誤解している意見者にはきちんとした内容を説明するような

第6回岩国市景観審議会 会議録

答え方は大事である。

委員会を否定することにもなるので、正しく説明した上で否定する必要がある。

- 小浦会長 ゾーンはどのように位置づけられ、使われてきたかを説明することと、ゾーンは地域性を表すもので、地域性に基づく方針を設定しているもので、それは区域とは異なることを説明する。
- 目山委員 意見者のゾーニングは、用途地域のような定義をもって指定しているようなので、景観のまとまりとしてのゾーニングしていることを説明する必要がある。意見者は誤解しているので、市としての考えを示した方がよい。
- 事務局 答え方は修正することとする。
- 木村委員 重点地区の基準として、錦帯橋周辺の看板やのぼり等のことはこの審議会では関係ないのか。恒常的に看板やのぼり旗が置かれている場合はいいのか。
- 事務局 臥龍橋通りの基準に看板等があり、これを守っていただくことになる。
- 小浦会長 屋外広告物条例との関係はどうなっているのか。
- 事務局 10月1日より県条例の事務移管を受けている。
- 小浦会長 県条例は緩いので、市の自主条例は検討していたが止まっている状態のようである。イベント時のものも屋外広告物の条例に則る必要がある。今後、景観計画との関係をよく整理した上で考えてほしい。
- 小浦会長 岩国・横山重点地区は、重要文化的景観の区域になるので、文化的景観の保護という観点が入ってくる中で、気になることがある。
例えば、資料1-1、109ページの工作物の緑化について「努めること」はしなくてよい状況になる。この「努めること」は、このままでいいのか。最低限でも配慮することにつながる表現としてほしい。
- 事務局 表現を再考する
- 目山委員 お願いであるが、市担当は理解しているかもしれないが、岩国の景観計画は教材で使っているなかで困ったことが1つある。体系的に説明するのに、複雑になりすぎていて伝えにくい。
のぼりやちょっとした設置物など、恒久的な場合と仮設的なものは、どこを見ればよいか等、体系的な整理をしてもらえると、運用の際に役立つのではないかと思う。
体系図や整理表などを作成し、行為を行う人がどういう見方をしたらよいかをわかりやすくしてもらえるとよい。
- 重富委員 県と市で実務は詰めさせていただいたので、今回、特に意見はない。
今回のパブコメ結果をいつ頃公表するのか。また、住民説明会の結果を公表するのはいつ頃か。
- 事務局 時期は未定だが、公表する時点では各委員に連絡する。
- 秋山委員 パブコメに対して真摯に対応しているように思う。
1次産業としての営みがあるので、1次産業も大事にいただきながら景観行政をやっていただけるとよい。
- 富川委員 前回の審議会での意見を踏まえて、審議会時からパブコメ案への変更があったという理解でよいか。パブコメ案には、審議会意見を含めているのか。

第6回岩国市景観審議会 会議録

- 事務局 そのとおりです。
- 目山委員 市民ベースで考えたときに、チェック項目があって景観まちづくりに貢献している、という意識づけにつながるような仕組みがある方がよい。
- 村越委員 全体だが、景観を阻害している要因として、のぼりや看板などがある。これらは配慮することとなっているので、配慮ということに対して、市の窓口の努力が必要である。
- 小浦会長 広告物は紆余曲折でどう進むのかはわからないが、人が集まる岩国地区、横山地区などでは重要になるかと思うので、改めて考えてほしい。
- 木村委員 土手町、鉄砲小路等の地名がどこかよくわからない。昔の地名が出てくる時にわからない人がいるのではないか。括弧書きで現在の町名を記載するなど、工夫をして欲しい。
- 山本委員 景観に無縁である。前回の審議会後、今回の審議会前に計画書を読んだが、ついていけない。徐々に勉強していきたい。
- 小浦会長 重要な意見である。計画を地域の人たちに理解していただくかということは今後の課題である。

その他 今後のスケジュールについて

○事務局 冒頭でもご説明させていただきましたが、資料の配布が当日となってしまったこともありますので、今月いっぱいを目途に変更案についてのご意見を伺う期間を設けさせていただきます。

その後、審議会という形ではないですが、事前にご案内させていただき、1月の都市計画審議会ならびに景観審議会に変更案を確定したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。